



## 2023年度阪神高速若手研究者助成の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長：吉田光市）は、一般財団法人阪神高速先進技術研究所及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、若手研究者の育成に寄与する社会貢献の一環として、更にはその研究の成果を当社の高速道路サービスの向上にも活かすため、2018年度から「阪神高速若手研究者助成基金」を設け、公募のうえ助成金を支給しています。

2023年度については、2022年11月22日から2023年2月9日まで公募を行い、構造、情報科学および電気通信など幅広い分野から計8件の応募をいただきました。これらを社内選定委員会において厳正に審査した結果、次の4件の研究（計約590万円）に助成することを決定しました。

研究課題名	所属	職名	氏名
CFRP板を接着したストップホールの疲労設計手法の確立	京都大学大学院 工学研究科	助教	松本 理佐
渋滞時の高速道路合流部における自律車線変更システムの開発	工学院大学 工学部機械システム工学科	准教授	WOO HANWOOL
3Dメタバース空間を基盤とする公共構造物デジタルデータの効率的な管理手法の開発	摂南大学 経営学部	准教授	塚田 義典
多様な通信環境が生じる高速道路の移動体通信システムのためのドローン基地局とRISを用いた高速大容量通信	大阪大学 情報科学研究科	助教	平井 健士

研究課題名の50音順

なお、これらの研究成果については、2024年6月頃、HP等で公表する予定です。